

2010年4月21日

記者各位

出光興産株式会社

高機能ポリカーボネート樹脂「タフロン® ネオ」を開発
～マイナス30℃以下の低温条件下でも使用可能な強靱性を実現～

当社(本社:東京都千代田区、社長:中野 和久)は、独自の共重合技術を用いて、「耐衝撃性・耐久性」に優れる高機能ポリカーボネート樹脂の開発に成功しました。

今後、「タフロン® ネオ(Tarflon® Neo)」の商品名で積極展開し、2012年度に30億円の売上高をめざします。

「タフロン ネオ」は、ポリカーボネート樹脂にポリジメチルシロキサン (PDMS) を共重合(化学結合)させることで完成した高機能ポリカーボネート樹脂です。ポリカーボネート樹脂の「透明性」「耐熱性」「寸法精度」などの優れた特性を保持しつつ、以下の強靱性を兼ね備えています。

(1) 卓越した耐衝撃性

マイナス30℃以下の低温空間においても常温時の50%以上の衝撃強度を維持。世界的規模で急速に普及しつつある高機能端末「スマートフォン」の筐体や、寒冷地域向け住設機器、あるいはウィンタースポーツ関連製品にも使用が可能。

(2) 優れた耐薬品性

ポリカーボネートの弱点であった耐薬品性、特に耐アルカリ性が大幅に向上。従来のポリカーボネートは使用が困難であった住宅用資材・土木工材・建材等の、厳しい環境下で使用される用途にも使用が可能。

(3) 秀でた耐候性

従来のポリカーボネートに比べ屋外での耐久性が大幅に向上。屋外で使用される各種メーター、通信機器、太陽電池の筐体などへの使用が可能。

これらの特長をいかし、これまで強度不足のため使用できなかった最新の薄型携帯電話の筐体・ボタン・内部パーツなどの薄肉部品への採用がすでに始まっています。また自動車部品メーカーからも優れた特性に期待が寄せられています。

このたび「タフロン ネオ」の本格的な市場展開の開始にあたり、当社千葉工場における生産体制が整い、2012年度に30億円の売上高をめざして積極的な市場展開を行います。

当社は、多様化するお客様のニーズや新たな用途にも、高度な分子設計技術により対応するとともに、様々なグレード設計、開発を進め、更なる高機能化を推進していきます。

<ポリカーボネート事業の概要>

- 国内生産拠点：出光興産(株)千葉工場（千葉県市原市姉崎海岸1-1）
生産能力 年産 47,000t/年
- 海外拠点：(原料生産) 台湾
(販売拠点) 中国、香港、台湾、ドイツ、アメリカ、シンガポール

以上

～ お問い合わせ先 ～

出光興産株式会社

IR・広報室 広報課（安永）

TEL：03-3213-3115

機能性樹脂部 機能性樹脂一課（高田）

TEL：03-3213-9551

URL <http://www.idemitsu.co.jp>